

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2024年7月から9月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2024年7月～9月

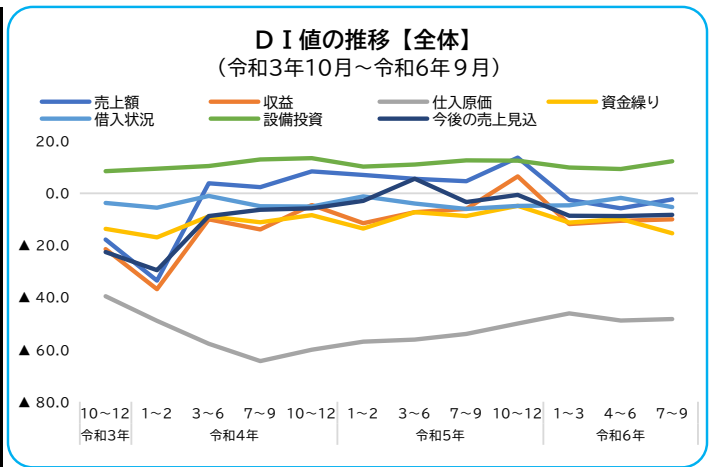
【調査方法】 建設業、小売業、卸売業、製造業、飲食・観光業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数85社、回答率70.8%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)／全体数×100-(④+⑤)／全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

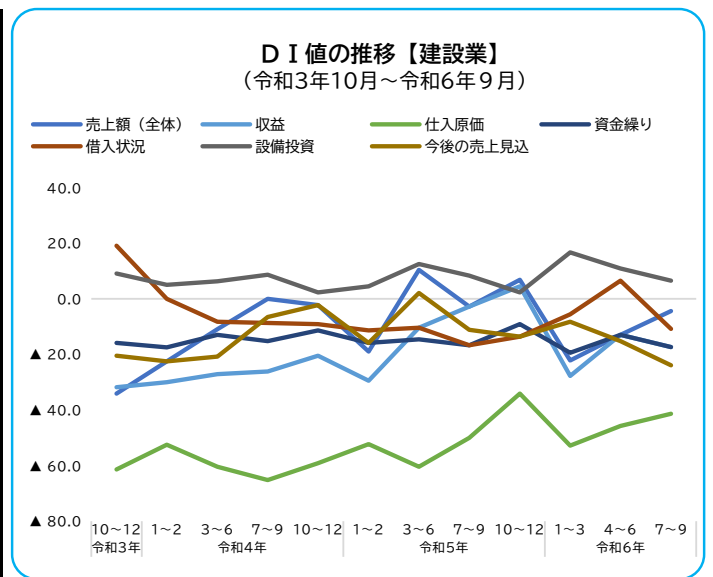
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	4	20	35	20	6	減少	▲2.4
収益	増加	1	20	30	29	5	減少	▲10.0
仕入原価	低下	0	1	17	51	16	上昇	▲48.2
資金繰り	好転	0	3	58	19	5	悪化	▲15.3
借入状況	減少	0	8	62	13	2	増加	▲5.3
設備投資	増加	3	21	56	4	1	減少	12.4
今後の売上見込	増加	0	22	33	24	6	減少	▲8.2



全産業における2024年7月から9月のDI値は、設備投資以外、全ての項目でマイナスとなっており依然として厳しい状況がうかがえる。特に資金繰りについては、全ての業種で悪化しており▲15.3ポイントと前年同期と比較して▲6.6ポイント悪化となっている。また、今後の売上見込についても▲8.2ポイントと前年同期と比較して▲4.9ポイント減少している。現在直面している経営上の問題点については、11期連続(2022年1月～2月調査以降)で「仕入原価の高騰」が60.0%と最も多く、次に「経費の高騰」が45.9%となっている。今後、求められる施策や支援策については「補助金・助成金」が54.1%と最も多く、次に「原材料・燃料価格の高騰対策」が50.6%となっている。

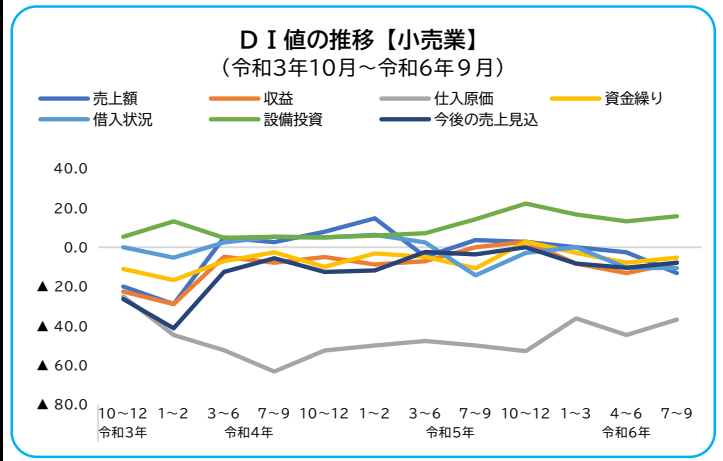
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	4	11	6	1	減少	▲4.3
公共工事(元請)	増加	0	0	8	4	4	減少	▲37.5
民間工事(元請)	増加	0	4	9	7	1	減少	▲11.9
下請工事	増加	2	4	10	4	0	減少	10.0
収益	増加	0	4	8	10	1	減少	▲17.4
仕入原価	低下	0	0	6	15	2	上昇	▲41.3
資金繰り	好転	0	0	17	4	2	悪化	▲17.4
借入状況	減少	0	0	19	3	1	増加	▲10.9
設備投資	増加	1	5	14	2	1	減少	6.5
今後の売上見込	増加	0	2	9	11	1	減少	▲23.9



*公共工事なし7件、民間工事なし2件、下請工事なし3件

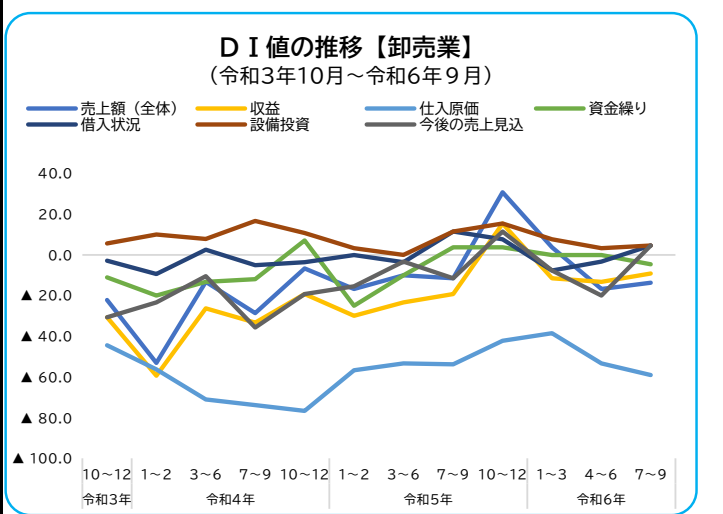
建設業のDI値は、公共工事(元請)は▲37.5ポイントと昨年同期と比較すると▲29.2ポイントと大幅に減少している。しかしながら、前年同期と比較し民間工事(元請)は10.0ポイント、下請工事は25.6ポイント増加している。今後の売上見込については、▲23.9ポイントと昨年同期と比較し▲12.8ポイント減少している。現在直面している経営上の問題点では「仕入原価の高騰」が52.2%(12件)と最も多く、次に「人手不足」が43.5%(10件)となっている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	3	9	6	1	減少	▲13.2
収益	増加	0	4	8	7	0	減少	▲7.9
仕入原価	低下	0	0	6	12	1	上昇	▲36.8
資金繰り	好転	0	2	13	4	0	悪化	▲5.3
借入状況	減少	0	1	14	3	1	増加	▲10.5
設備投資	増加	1	5	12	1	0	減少	15.8
今後の売上見込	増加	0	5	7	6	1	減少	▲7.9



小売業のDI値は、売上額が▲13.2ポイントと昨年同期と比較して▲16.8ポイントと大幅に減少しており、収益についても▲7.9ポイントと▲7.9ポイント減少している。しかしながら、設備投資については、6社（31.6%）が増加と回答されており、15.8ポイントとなっている。現在直面している経営上の問題点では「売上減少」と「仕入価格の高騰」が47.4%（9件）と最も多く、求められる施策や支援策については、「補助金・助成金」が57.9%（11件）が最も多くなっている。

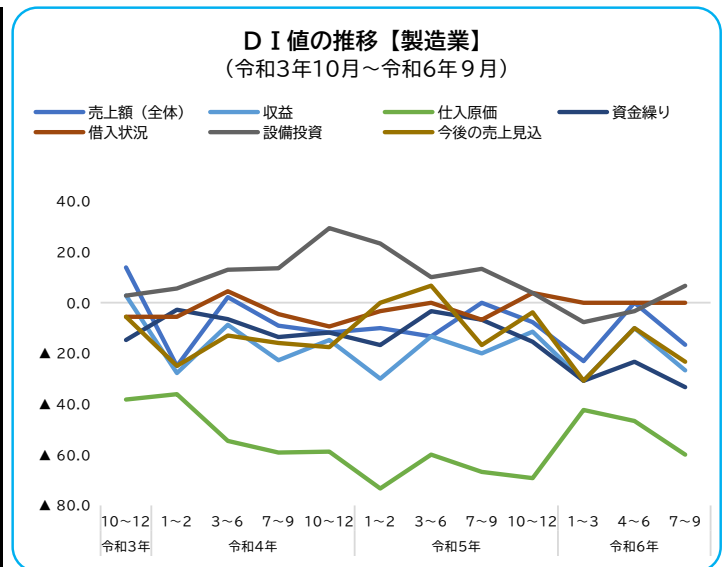
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	2	5	3	1	減少	▲13.6
市内売上	増加	0	2	4	4	1	減少	▲18.2
市外売上	増加	0	4	3	2	1	減少	0.0
収益	増加	0	3	4	3	1	減少	▲9.1
仕入原価	低下	0	0	1	7	3	上昇	▲59.1
資金繰り	好転	0	1	8	2	0	悪化	▲4.5
借入状況	減少	0	2	8	1	0	増加	4.5
設備投資	増加	0	1	10	0	0	減少	4.5
今後の売上見込	増加	0	4	5	1	1	減少	4.5



*市外売上なし1件

卸売業のDI値は、市外売上が0.0ポイントと昨年同期と比較して15.4ポイントの大幅な増加となっているものの、市内売上が▲18.2ポイントと昨年同期と比較して▲6.7ポイント悪化しており、売上額（全体）についても▲13.6ポイントと昨年同期と比較して▲2.1ポイントの微減となっている。しかしながら今後の売上見込は、4.5ポイントと昨年同期と比較して16.0ポイントの大幅な増加となっている。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が81.8%（9件）と最も多く、次に「経費の高騰」が54.5%（6件）となっている。

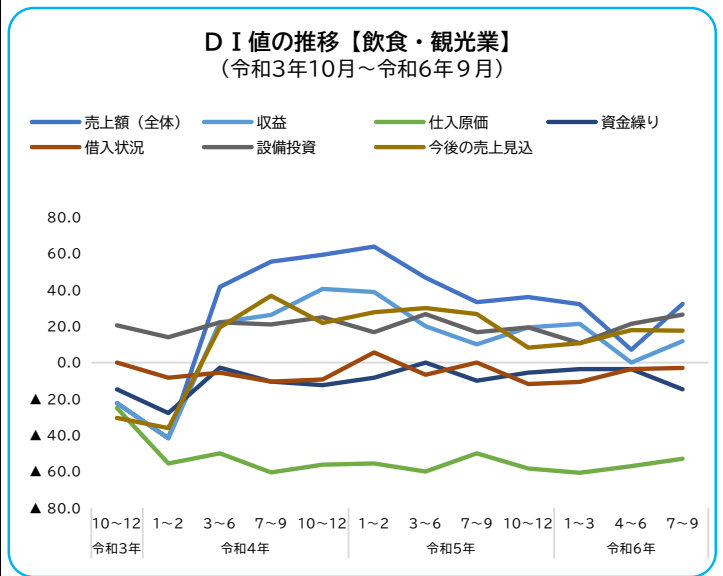
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	6	4	2	減少	▲16.7
市内売上	増加	1	2	5	4	2	減少	▲14.3
市外売上	増加	0	3	8	2	2	減少	▲10.0
海外売上	増加	0	0	3	1	0	減少	▲12.5
収益	増加	0	3	3	7	2	減少	▲26.7
仕入原価	低下	0	0	3	6	6	上昇	▲60.0
資金繰り	好転	0	0	8	4	3	悪化	▲33.3
借入状況	減少	0	3	9	3	0	増加	0.0
設備投資	増加	0	3	11	1	0	減少	6.7
今後の売上見込	増加	0	2	6	5	2	減少	▲23.3



*市内売上なし1件、海外売上なし11件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して市内売上▲17.9ポイント、市外売上▲10.0ポイント、海外売上▲12.5ポイントと全てにおいて減少し、売上額（全体）においても▲16.7ポイントと昨年同期と比較して▲16.7ポイント減少している。また、資金繰りについても▲33.3ポイントと昨年同期と比較して▲26.6ポイントと大幅に悪化している。今後の売上見込についても▲23.3ポイントと▲6.6ポイント減少しており、厳しい状況が続くと思われる。現在直面している経営上の問題点では「仕入価格の高騰」が60.0%（9件）と最も多く、次に「経費の高騰」が46.7%（7件）となっている。

飲食・観光業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	3	8	4	1	1	減少	32.4
地元売上	増加	0	3	12	0	2	減少	▲ 2.9
日本人観光客売上	増加	1	5	8	1	1	減少	12.5
インバウンド売上	増加	5	5	6	0	0	減少	46.9
収益	増加	1	6	7	2	1	減少	11.8
仕入原価	低下	0	1	1	11	4	上昇	▲ 52.9
資金繰り	好転	0	0	12	5	0	悪化	▲ 14.7
借入状況	減少	0	2	12	3	0	増加	▲ 2.9
設備投資	増加	1	7	9	0	0	減少	26.5
今後の売上見込	増加	0	9	6	1	1	減少	17.6



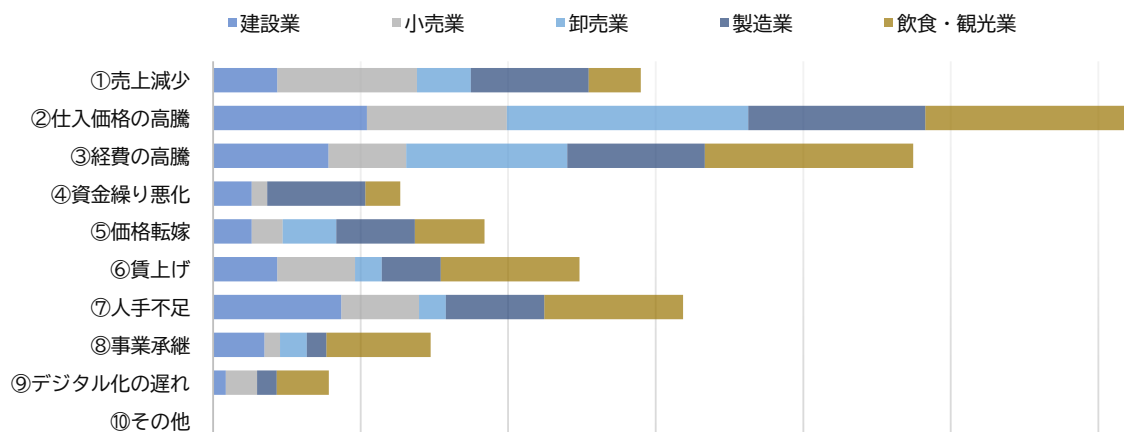
*日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし1件

飲食・観光業のDI値は、インバウンド売上が依然として好調で46.9ポイントと昨年同期と比較して18.3ポイント増加となっているものの、地元売上及び日本人観光客売上が昨年同期と比較して▲9.6ポイント、▲14.2ポイント減少しており、売上額(全体)は32.4ポイントと昨年同期と比較して▲0.9ポイントの微減となっている。設備投資については、8社(47.1%)が増加と回答されており、26.5ポイントと昨年同期と比較して9.8ポイント増加となっている。現在直面している経営上の問題点では、「仕入価格の高騰」と「経費の高騰」が70.6%(12件)と最も多い。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

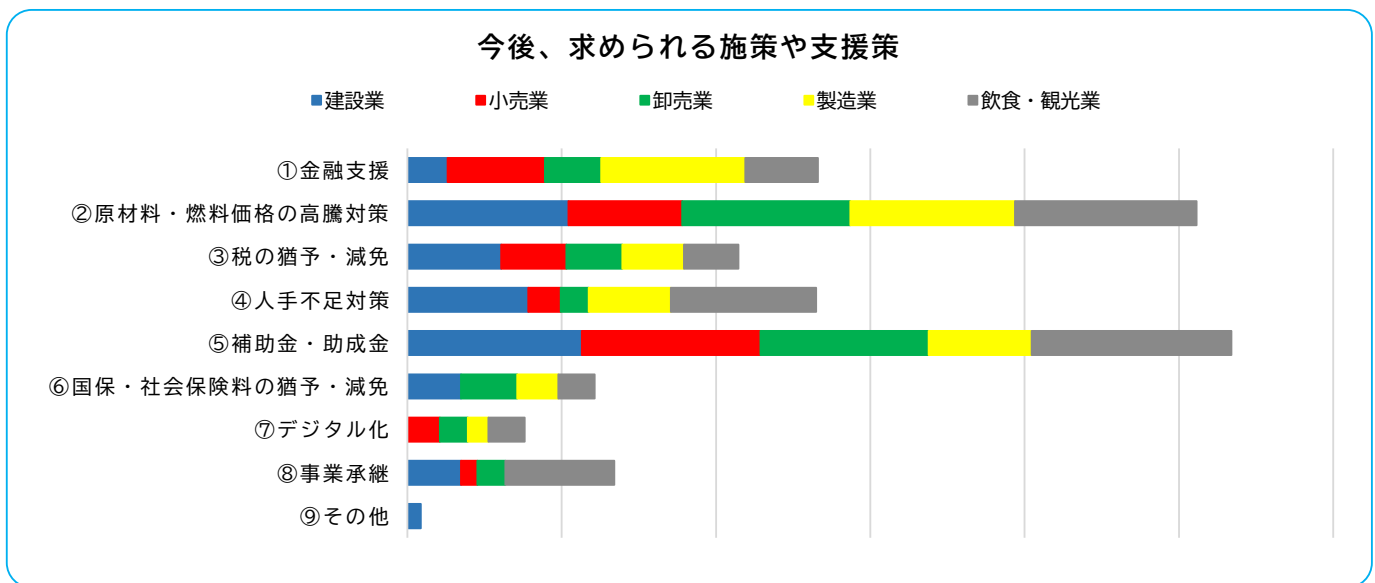
	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①売上減少	5	9	2	6	3	25	29.4%
②仕入価格の高騰	12	9	9	9	12	51	60.0%
③経費の高騰	9	5	6	7	12	39	45.9%
④資金繰り悪化	3	1	0	5	2	11	12.9%
⑤価格転嫁	3	2	2	4	4	15	17.6%
⑥賃上げ	5	5	1	3	8	22	25.9%
⑦人手不足	10	5	1	5	8	29	34.1%
⑧事業承継	4	1	1	1	6	13	15.3%
⑨デジタル化の遅れ	1	2	0	1	3	7	8.2%
⑩その他	0	0	0	0	0	0	0.0%

現在直面している経営上の問題点



問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	飲食・観光業	合計	
①金融支援	3	6	2	7	4	22	25.9%
②原材料・燃料価格の高騰対策	12	7	6	8	10	43	50.6%
③税の猶予・減免	7	4	2	3	3	19	22.4%
④人手不足対策	9	2	1	4	8	24	28.2%
⑤補助金・助成金	13	11	6	5	11	46	54.1%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	0	2	2	2	10	11.8%
⑦デジタル化	0	2	1	1	2	6	7.1%
⑧事業承継	4	1	1	0	6	12	14.1%
⑨その他	1	0	0	0	0	1	1.2%



《建設業》景気対策

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。